

# 平成27年度 事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人みんなのひろば

## 平成27年度事業概要

今年度の事業に関して、フリースクール事業については、スタッフの人材育成のために「大和証券フェニックスジャパンプログラム2015助成」を受けながら、フィールドワーク研修・実務研修などを行い、スタッフ2名のスキルアップを図った。当フリースクールへの関心も高まり、テレビ・新聞取材などもあり、新規の相談・支援も増えてきた。さらにサービスを充実させ、子ども一人ひとりのニーズに合わせた支援を行い、不登校・ひきこもり支援を継続して行っていきたい。夕方時間帯に行っている「学習サポート事業」については、利用希望者も増え、平日の夕方はほぼ毎日、生徒が通ってきている状況である。5年継続となる独立行政法人福祉医療機構社会福振興助成事業「キンボールで元気アップ福島2015」は、県内各地でのキンボール体験教室事業やキンボールリーダー講習会を実施。今後の事業の有料化に向けての取り組みも行った。今後も福島県内にキンボール旋風を巻き起こしていきたい。赤い羽根共同募金助成事業「発達障がいのある子どもを対象としたパソコン教室」を新規に開始。昨年度から開始した「パソコン絵画教室」と並行して実施した。子どもたち・保護者からも大好評であり、さらに参加者を募っていきたい。その他の事業に関しては例年通りに実施している。次年度より開所予定の放課後等デイサービスの準備も進めている。

## (1) 特定非営利活動に係る事業

①子どもが主体となるフリースクール運営事業	事業費	6,403(千円)
-----------------------	-----	-----------

<平成28年3月31日現在の生徒数>

小学生2名、中学生9名、高校生9名、18歳以上5名、計25名

以上の生徒が利用中。

・スタッフ3人体制での役割分担もスムーズになり、子ども一人ひとりのニーズに合わせてサポートを行ってきた。今年度より新しく通うことになった生徒たちも少しずつ慣れてきて、毎日元気に通ってきてくれている。小学生・中学生・高校生・18歳以上、それぞれが抱える悩みや目標や夢などは様々であるため、今後も子どもたちと真っすぐに向き合い、しっかりと気持ちを聞きながらサポートを続けていくこととする。併せて、保護者をいかに支えていくかということも大事である。今年度も特に受験生の保護者とは面談の機会を多く設けた。子どもも保護者も気軽に相談できる雰囲気・体制づくりを続けていく。

・「大和証券フェニックスジャパンプログラム2015助成」を受け、当フリースクールの2名のスタッフ育成を行った。(平成28年9月まで継続中)社内研修、フィールドワーク研修(施設見学)、実務研修(福祉施設での3日間の研修)、ケース会議への参加などを体験してもらい、フォローアップも行い、専門職としてのスキルアップを図るためのものである。次年度も続くため、いろいろなことを学んで、感じて、今後も当法人スタッフの核となる人材へと育ててほしい。

・セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと飯坂サポーターズクラブとの連携事業として「茂庭での川遊び体験」や毎年恒例の夏キャンプ(丸森不動尊キャンプ場)、七夕やクリスマス会など、季節に合わせた行事を行えるようになった。また、女子スタッフと女兒・女子生徒との女子グループ活動(花植え作業や料理教室、ハロウィンパーティーなど)も多く行った。今後も、子どもたちが積極的に参加できるような行事を考えていきたい。

・年2回ずつ実施している、「保原ライオンズクラブ」「福島信用金庫保原支店」と合同での保原町陣屋通りの花植えボランティア活動は今年も多くの子供たちが参加して実施した。子どもたちにとってボランティア体験と同時に、いろいろな人との触れ合いもできる良い体験場所であり、次年度も参加したい。

②ひきこもり等若年求職者への就職サポート事業	事業費	0(千円)
------------------------	-----	-------

今年度は特に活動なし。

・電話連絡、メールで現状の確認、フォローアップを行った。

**③子どもの居場所づくり事業**

事業費 2, 307 (千円)

・「発達障がいのある子どもを対象とした学習サポート事業」については、利用希望者も増え、月～金の夕方にはほとんど毎日、開催している。勉強と休憩のタイミングをうまく取ることで、少しでも集中が続くように関わっている。また、その子その子により、覚え方の違いがあるので、絵で説明、字で説明、簡単な模型を作って説明など、いろいろと工夫している。

・赤い羽根共同募金[一般公募]助成事業「発達障がいのある子どもを対象としたパソコン教室新規事業開設のための備品整備事業」により、子どもたちが使用するノートパソコン・パソコンペンタブレットやペイントソフト・プロジェクター等を購入。講師を招き、月2回の開催。ワードやエクセルの使い方を中心に、子どもたちの自主性を尊重しながら文書の作り方などを学んだ。教室中の写真や連絡帳をお渡しすることで、子どもにも、保護者にも喜んでいただいた。

10月15日、10月25日、11月13日、11月29日、12月11日

12月27日、1月14日、1月24日、2月10日、2月28日

計10回、のべ63名の参加

・公民館や学習センターからの講師依頼により、科学実験教室やニュースポーツ体験教室などを開催。毎年継続で呼んでいただける機関も多く、参加者・担当者には喜んでいただいている。また新たな企画を考え、参加者にさらに喜んでいただけるような内容にしていきたい。

**④保護者・関係機関・行政・市民・学生の学習と交流を図る活動**

事業費 3, 288 (千円)

・独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業「キンボールで元気アップ福島2015事業」においては、地域の教育委員会や社会福祉協議会と連携し、多くの関係機関と協力しながら、県内各地においてキンボール体験教室（全40会場）、リーダー資格講習会（全2回）、レフリー講習会（全2回）を実施した。全ての事業において2, 804名という大変多くの方に参加していただいた。連携機関・関係先・参加者からのアンケート、次年度の問い合わせの多さなどから、好評をいただいていることは感じている。次年度以降、助成をいただかなくても実施できるような有料化の体制も整えてきたため、さらに参加者に安心して楽しんでいただける内容を検討していく。また、用具レンタル事業も開始。レンタル代は無料、書類1枚の記入と宅急便代だけの負担という気軽さから、多くの依頼が届いている。今度も、福島県内をキンボールで元気にしていきたい。

・福島県キンボールスポーツ連盟事務局として、キンボール講師依頼・ニュースポーツ講師依頼による講師派遣を行った。会員同士の交流や情報発信のためにホームページやSNSも活用し始めた。改良を重ねながら、見やすい・使いやすいものにしていきたい。

**⑤教育や不登校についての相談・情報提供活動**

事業費 340 (千円)

・ホームページによる情報提供や相談受付、電話・FAX・メールによる相談対応を行った。特にメールでの相談は顔が見えず、対応が難しいものであるが、その初めのコンタクトからフリースクール利用につながるケースも多い。どのような返信が望ましいか、スタッフ内で相談しながら行っていくこととする。

・「みんなのひろば通信」会員向けの広報紙の発行については、今年度も年1回しか発行できなかった。紙面による情報発信も必要であり、当法人を応援してくださる方々のためにも、また新たに応援してくださる方を増やすためにも、年4回の発行を目標とする。

**⑥親と子のふれあい事業**

事業費 99 (千円)

・「やさしい子育てワークショップ」は、今年度も年4回の実施。簡単なモノづくりワークショップを行いながら、子育て経験者と新米ママさんとが交流し、その中で子育ての悩みや不安などを話し合えるように、スタッフがファシリテーターとなって雰囲気づくりに配慮した。

参加者16名、スタッフ5名の年4回実施。のべ84名の参加。

特に行った活動なし。

## (2) その他の事業 (収益事業)

その他の事業として収益事業は行っていない。

## (3) その他

- ・ 通常総会  
第1回 平成27年 6月 7日(日) 13:00~15:00
- ・ 臨時総会  
第1回 平成28年 3月21日(月) 18:00~19:00
- ・ 通常理事会  
第1回 平成27年 6月 7日(日) 10:00~12:00  
第2回 平成27年 9月13日(日) 19:00~21:00  
第3回 平成27年12月26日(土) 19:00~21:00  
第4回 平成28年 3月21日(月) 16:00~18:00
- ・ 臨時理事会  
第1回 平成27年 7月18日(土) 19:00~21:00  
第2回 平成27年10月17日(土) 19:00~21:00
- ・ 会員向け広報紙「みんなのひろば通信」  
第1回 平成27年 7月 1日発行